

# 学校だより

## 第5号



令和元年 7月 19日 発行  
京都府立向日が丘支援学校  
京都府長岡京市井ノ内朝日寺 11  
Tel 075-951-8361 Fax 075-951-8362  
<http://www.kyoto-be.ne.jp/mukougaoka-s/cms>



### 1学期を終えて



早いもので、平成 31 年から令和元年になり 3ヶ月近くが過ぎ、本日をもって 1 学期の教育活動を終えることとなりました。

保護者の皆様、地域社会の皆様には、この 1 学期も大変お世話になり、誠にありがとうございました。皆様のたくさんの御支援のおかげで、今学期も児童生徒のたくさんの成長を見ることができ、大変嬉しく思っております。

御承知いただいていますように、本校は、今年度も引き続き「地域社会との連携協働の下で創造する喜びをともにする授業～多様性は可能性～」とのテーマで文部科学省からの研究指定を受け、全校で授業改善に取り組んでいます。

1 学期中にも地域社会との連携の中でいくつもの新しい試みを行い、多くの方々と子どもたちの成長する姿をとおして「喜びをともにする」ことができました。

その一つを新聞で紹介していただきました。

この取組は、一昨年度から連携していただいている「長岡京市環境の都づくり会議」の方々が、水を使って遊ぶ様々な竹のおもちゃを作ってください、小学部の子どもたちに遊びの機会を提供していただいたものです。私も見せていただいたのですが、本校の子どもたちは、全身びしょ濡れになりながらも、どんどん自分から遊びに挑戦し、体いっぱい、気持ちいっぴいに楽しんでいました。この素敵な姿は、普段からの人となつながらを大切に学習の成果であると感じました。そして、それを見守ったり、また、一緒に関わったりしてくださる地域社会の方々とともに楽しんでおられる表情がとても印象的で、心に残りました。「子どもたちの笑顔を見られて、作ったかいがあった」とは、新聞に載っているメンバーの方の言葉です。

私たちは、子どもたち一人一人に、「主体的に幸せに生きるための力」を授業をとおして育みたいと考えています。そして、子どもたちが地域社会の一員として生きるための共感を、学校を地域社会に開くことをとおして広めていきたいと思えます。

この日、お世話になった方々が、おうちの方や近所の方に、「向日が丘支援学校に行って一緒に遊んできて楽しかったわ。子どもたちが素敵やった」などと話してくださっていることを想像するとすごく温かな気持ちになります。

地道かもしれませんが、こうした営みの指し示す共生社会の未来に向けて、これからも皆様とともに歩みを進めたいと思っております。

これからもよろしくお願いいたします。

向日が丘支援学校長 平岡 克也



## 高等部 宿泊学習



6月20日(木)、21日(金)に丹波自然運動公園で1泊2日の宿泊学習を行いました。



実施に向けて生徒で実行委員会を組織して、しおり作りや現地での交流ゲームの準備・運営等を自分達で計画して行いました。また、夕食や朝食の配膳も自分ができることをお互いにしあって、時間どおりに取組が進むように協力。訪問生徒を含む2年生の23名全員が取組に参加することができ、それぞれに楽しい時間を過ごすことができました。

今後も、10月に予定している修学旅行に向けて、友達と協力しながら自分でできることを増やしていけるように学習に励んでいきます。